



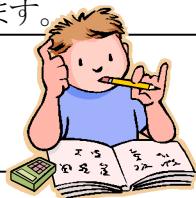
「基礎・基本」定着状況調査 (学力テスト)の結果

基礎・基本の重要性と本校の取り組み

このテストは、毎年5年生で実施されています。

児童の学習に対する理解度、学習指導の課題、児童の学習や生活に対する意識等を明らかにし、児童のさらなる成長のために学校と家庭が協力して取り組むことが、このテストの意味であると考えます。

今回の調査を通して、児童がよく理解できているところ、逆に定着しにくい領域や改善点が明らかになりました。繰り返し学習や少人数指導などを積極的に取り入れ、よりきめ細やかで効果的な指導法の工夫改善に努めていきます。すべての児童が「できた」「分かった」「やった」と感じることができるよう、教職員一同、日々の実践を充実していきます。今後とも、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



調査結果について

本年度の「基礎・基本」定着状況調査(学力テスト)は、国語科・算数科とも全領域で、広島県・広島市平均を上回る結果となりました。

国語科では、「聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言語事項」の3領域一事項全てで、県・市の通過率を上回っています。特に「読むこと」「言語事項」においては10%以上上回っており、「読む」機会を増やしたり、繰り返し学習を継続したりといった指導の結果と考えられます。

算数科では、どの領域も90%前後の通過率で、単元の学習の中で具体的な操作活動を体験させ、反復学習を徹底してきた成果と考えられます。

このテストは、1学年から4学年までの学習状況の定着度をみるものですが、今後も個別指導をしっかりとていき、定着した知識を用いて更に発展的な学習ができるよう指導方法を工夫してまいります。

調査方法等

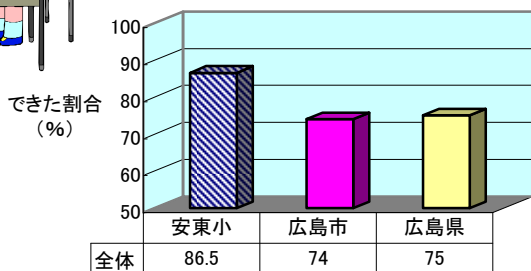
- 日時 平成21年6月9日(火)
- 対象 第5学年
- 方法 テスト方式
- 教科 国語科・算数科
- 出題範囲 小学校1～4年生
- 分析・考察 安東小教職員

基礎・基本定着状況調査(国語)

No.1



国語全体



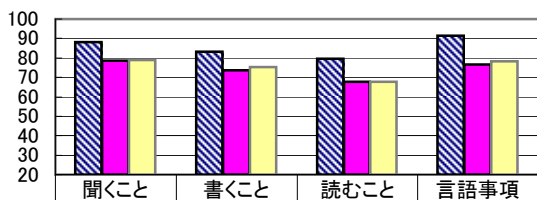
国語科の平均通過率は86.5%で、県平均よりも11.5ポイント、市平均よりも12.5ポイント高い結果となりました。全体的に基礎的な学習内容は定着していると考えられます。

「言語事項」では、91.5%の通過率でした。反復学習の成果が表れています。

その反面、文章の構成を考えて書いたり、文脈に即して、文意に合う語句を選択したりすることに課題が見つかりました。

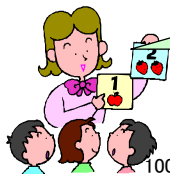
今後、意見文を書く際には結論先行型の文章とするように指導し、理由を論理的に記述する活動を重点的に行っていきます。

また、文章全体をとらえさせ、著者の言いたいことは何なのかを考えさせるような発問を行い、文脈を大まかに捉えさせる学習に取り組み、PISA型読解力を育成していきます。

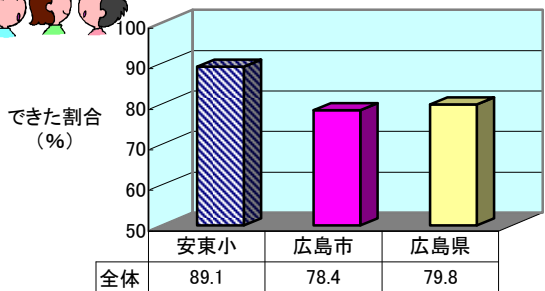


安東小	88.1	83.3	79.6	91.5
広島市	78.5	73.6	67.9	76.6
広島県	79	75.4	67.6	78.3

基礎・基本定着状況調査(算数)



算数全体



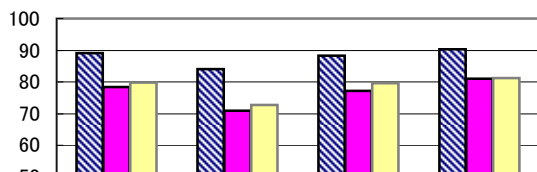
算数科の平均通過率は89.1%で、県平均よりも9.3ポイント、市平均よりも10.7ポイント高い結果となりました。

「数と計算」「数量関係」の領域は90%前後の高い通過率で、全体的に基礎的な学習内容は定着していると考えられます。

その反面、面積単位において具体的なイメージが定着していないこと、分数の意味の理解が不十分であること、伴って変わる数量の関係を見つけることに課題が見つかりました。

これらの課題を克服するために、算数的な活動をこれまで以上に取り入れ、 cm^2 や m^2 などについて具体的なイメージを持たせる指導、1に当たる大きさを常に意識し、単位分数に着目させる指導、数量の関係を帰納的に見出させる指導を行っていきます。また、既習事項においても反復して学習を行い、一層の定着を図っていきます。

今後も一人ひとりの児童の理解の程度をしっかりと見取り、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行っていきます。



安東小	89.1	84.1	88.4	90.3
広島市	78.4	70.9	77.2	81
広島県	79.8	72.8	79.7	81.2